

奴国について調べてみよう!!

「春日市文化財ガイドブック なるほどかすがの文化財」を見ながらすると分かりやすいよ！

なごく
奴国ってどんな国？



奴国って聞いたことはあるけど...
どんな国だったのかな？

弥生時代になると米づくりがはじまって、
日本にいさな国がたくさんできたよね。
奴国は、福岡平野にできたひとつの国だよ。



なごく
奴国という国は、今から 2000 年ぐらい前に栄えた国です。春日市
を中心とする福岡平野一帯のことを「奴国」と呼んでいました。奴国は、
大陸から進んだ文化をいち早く取り入れて発展しました。

古代中国の歴史書には、奴国は他の国に先がけて中国の皇帝に使い
を送り、57年に金印を与えられたと記されています。それがみんなも
知っている「漢委奴国王」の金印です。
この金印をもらった王様の数世代前の奴国王のお墓からは、「草葉
文鏡」と呼ばれる大きな鏡が見つかっています。直径が20cm以上の鏡
で、奴国の王様の力の大きさを表しています。



奴国王のお墓から
見つかった直径
20cm以上ある鏡
の名前は？



奴国の中心地が資料館周辺
だったってホント？

資料館の周辺では、王族のお墓や青銅器やガラスをつくる工房の跡も見つかっているんだ。
中国との交流で新しい文化を取り入れてたんだよ！



せいどうき こうぼう

青銅器工房でなにをつくっていたの？



青銅器をつくる様子（想像図）

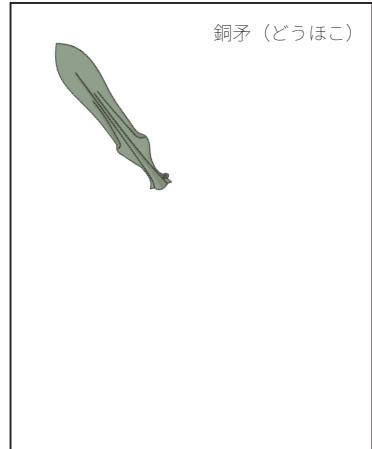
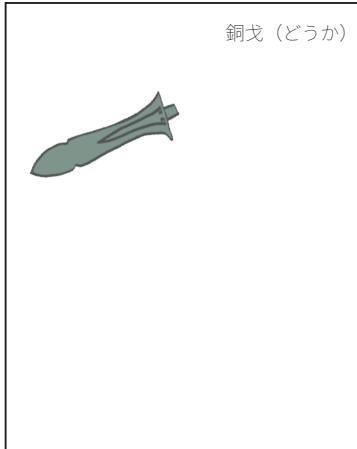
石を彫り込んでつくった鋳型をあわせて、その中に銅とすずと鉛の合金（青銅）を流し込んでつくるのが青銅器です。青銅器をつくるには、高度な技術や大陸産の原料が必要で、当時の最先端技術でした。青銅器工房では、銅戈や銅矛、銅鏡などがつくられていました。



石でつくられた型だね。
たくさん彫り込みがあるね。
これは何をつくる型だろう？



どんな使い方をしていたのかな？しらべて、絵でかいてみよう！
「なるほどかすがの文化財」の22ページを見てみよう



他にもこんな青銅器をつくっていたよ。



どうたく
銅鐸

弥生時代につくられたカネ形
の青銅器で、お祭りでつかう
道具でした。



どうきょう
銅鏡

弥生時代にお祭りなどで使う
青銅でつくられた鏡です。